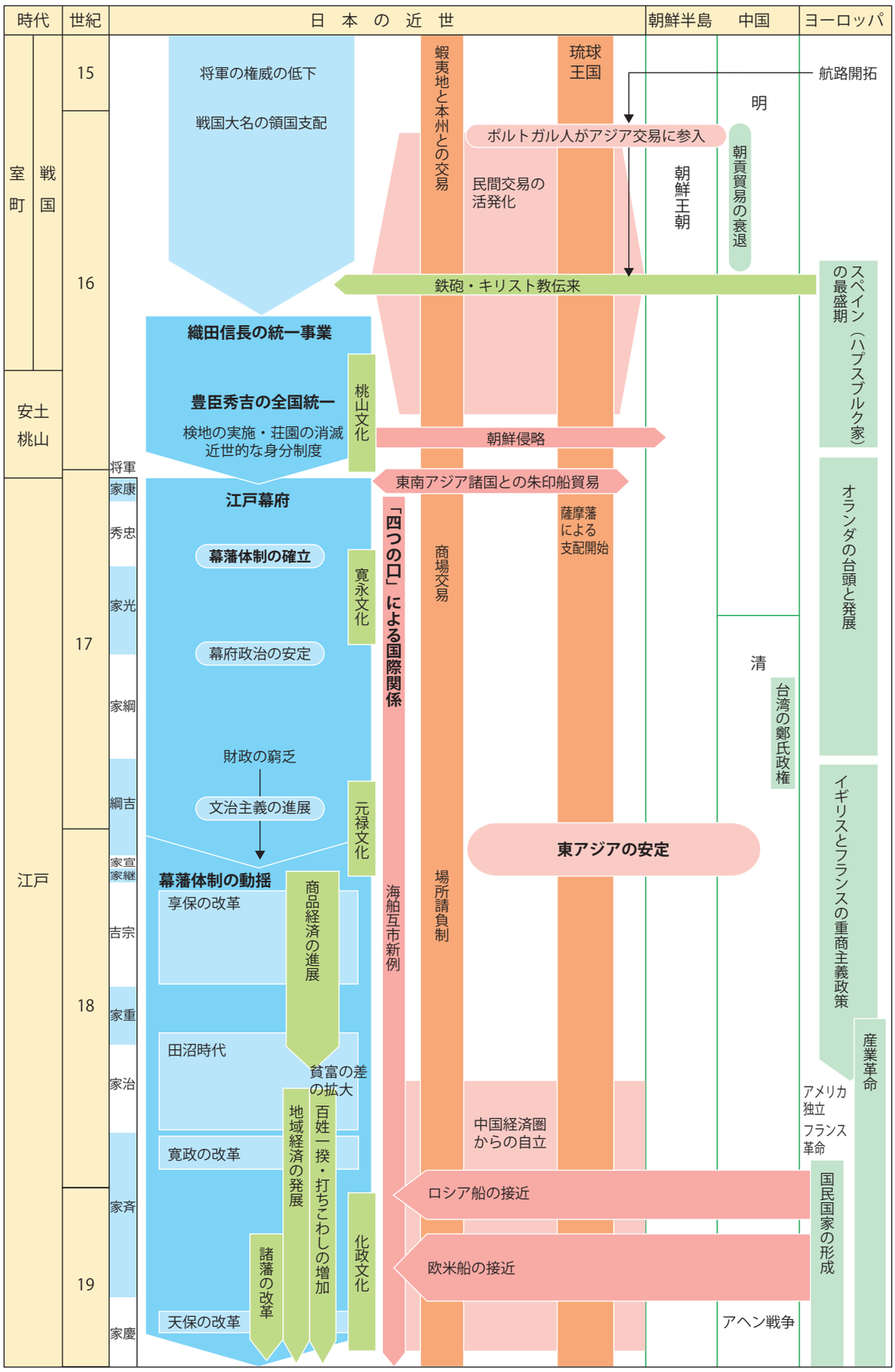
時代
世紀
日本の近世
朝鮮半島
中国
ヨーロッパ
室町
戦国
安土桃山
江戸
15
16
17
18
19
将軍
家康
秀忠
家光
家綱
綱吉
家宣
家継
吉宗
家重
家治
家斉
家慶
将軍の権威の低下
戦国大名の領国支配
織田信長の統一事業
豊臣秀吉の全国統一
検地の実施・荘園の消滅
近世的な身分制度
江戸幕府
幕藩体制の確立
幕府政治の安定
財政の窮乏
文治主義の進展
幕藩体制の動揺
享保の改革
田沼時代
寛政の改革
天保の改革
桃山文化
寛永文化
元禄文化
化政文化
商品経済の進展
貧富の差の拡大
百姓一揆・打ちこわしの増加
地域経済の発展
諸藩の改革
蝦夷地と本州との交易
琉球王国
航路開拓
明
ポルトガル人がアジア交易に参入
民間交易の活発化
朝鮮王朝
朝貢貿易の衰退
鉄砲・キリスト教伝来
スペインの最盛期（ハプスブルク家）
朝鮮侵略
東南アジア諸国との朱印船貿易
「四つの口」による国際関係
商場交易
場所請負制
海舶互市新例
薩摩藩による支配開始
オランダの台頭と発展
清
台湾の鄭氏政権
東アジアの安定
イギリスとフランスの重商主義政策
産業革命
アメリカ独立
フランス革命
中国経済圏からの自立
ロシア船の接近
欧米船の接近
国民国家の形成
アヘン戦争